

高等学校 令和7年度
教科 地理歴史 科目 地理探究
対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組
教科担当者：
使用教科書：（ 新詳地理探究（帝国書院）
使用教材：（ 新詳高等地図(帝国書院）

教科 地理歴史 科目 地理探究
単位数： 4 単位

- 教科 地理歴史 の目標：
- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を課題と主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して課題とされる社会課題としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他地の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地形に関わる諸事象の規則性、傾向性等、人間による利用などについて理解する。地形の分布や成因などに注目して、「平野の地形」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 世界各地の自然と生活に関わる諸事象の規則性、傾向性等、気候区分の方法などについて理解する。気候の特徴と人々の暮らしとの関係性に注目して、「各気候帯での人々の暮らし」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	第1章 自然環境 ①地形 ②気候と生態系 ③世界各地の自然と生活	知：世界各地の自然と生活に関わる事象の規則性、傾向性等、気候区分の方法などについて理解することができる。 思：地形の分布や成因などに注目して、「平野の地形」などの主題を基に、「平野の地形はどのように利用されてきたのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 学：世界各地の自然と生活について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	26
	地球環境問題に関わる諸事象の規則性、傾向性等、持続可能な地球環境の開発のあり方などについて理解する。 農林水産業に関わる諸事象の規則性、傾向性等、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 資源地域の分布や消費地との結びつきなどに注目して、「エネルギー資源の問題」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	⑤地球環境問題 第2章 資源と産業 ①農林水産業 ②資源・エネルギー問題	知：地球環境問題に関わる諸事象の規則性や、持続可能な開発のあり方などについて理解することができる。 思：農林水産業の条件や変化などに注目して、「食料問題」などの主題を基に、「世界の栄養不足人口の分布に地域的な偏りがあるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 学：資源・エネルギーの生産と消費について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	26
2 学 期	工業に関わる諸事象の規則性、傾向性等、工業生産のグローバル化に伴う諸課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 第3次産業に関わる諸事象の規則性、傾向性等、サービス経済化の現状や要因、解決に向けた取組などに着目して、「交通と通信の課題」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	③工業 ④第3次産業 第3章 人・モノ・金のつながり ①交通・通信	知：第3次産業に関わる諸事象の規則性、傾向性等、サービス経済化の現状や要因、問題の解決に向けた取組などについて理解することができる。 思：工業立地や変化などに注目して、「工業生産のグローバル化」などの主題を基に、「知識集約型産業は今後どのように展開していくのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 学：交通と通信の発達について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	28
	運輸、観光に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性等、貿易・観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 人口の推移、分布、移動などに注目して、「少子高齢化」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。 村落・都市に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性等、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	②貿易・観光 第4章 人口、村落・都市 ①人口 ②村落・都市	知：人口に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性等、人口問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。 思：集落の機能や形態などに注目して、「世界の居住問題」などの主題を基に、「都市の居住問題の背景には何があるのだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 学：経済連携の進展や観光の多様化について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	28
3 学 期	生活文化と言語・宗教に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性等、民族問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 国家の特徴や国家の結ぶつきなどに着目して、「世界の民族・領土問題」などの主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	第5章 文化と国家 ①生活文化と言語・宗教 ②国家とその領域	知：生活文化と言語・宗教に関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性等、民族問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。 思：世界の衣食住や言語・宗教の地域性などに着目して、「生活文化の多様性」などの主題を基に、「世界各地で主食が異なるのはなぜだろうか」などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。 学：民族・領土問題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	32
							合計
							140